

ORICNEWS

翔飛 ひこめい

No.9 (2005.7)



2005年 7月新発売

(株)アスコルバイオ研究所

詳細は6ページの企業紹介をご覧ください。

- 目次 -

巻頭言	2
研修・交流会活動	3～5
入居者の活動・トピックス	5
入居企業のご紹介	6・7
スタッフルームより	7
新入居者のご紹介	8
INFORMATION・入居案内	8

巻頭言



「ドアの向こうに道はある」

岡山大学地域共同研究センター
助教授 藤原貴典

岡山ICから程近い岡山リサーチパークで、ひときわ眩いORICの建物を真南に眺める位置に、私ども岡山大学地域共同研究センターがあります。恒例のORICセミナーにも時折参加させていただき、創業支援セミナーや当センター業務紹介などで大変お世話になっております。そこで、徒歩で行き来できるお隣から、応援メッセージをお送りしたいと思います。

産学官で新しい知恵を生み出すための大学の窓口として、いの一歩に岡山リサーチパークへ進出して以来はや11年目。その間、科学技術相談や共同研究・受託研究の実績は、お蔭様で毎年伸びて参りました。そして2年前に大学として特許にも前向きに対応するために知的財産本部を設置。また、大学で生み出された特許を産業界でご活用いただくための岡山TLOが昨年設立。さらに、昨年春の国立大学法人化をきっかけとして、大学独自の判断で社会との接点を強化する工夫もできるようになった結果、これまで以上に産業界との結びつき方が多面的かつ奥深いものに変化して参りました。

しかし、企業の皆様と大学が手をつなぐにも最初はきっかけが必要です。そこで、常駐スタッフはわずか5名の当センターに、東(あずま)英男・梶谷浩一の2名の産学連携コーディネーターが「技術の仲人」として配置されています。皆様が抱えていらっしゃる技術の悩みを、相当すっきり軽やかにして差し上げられるものと自負しています。「大学はどうも敷居が高くて」とためらう前に、ぜひ一度ご相談いただきたく、

お気軽にお越しください。(心の内に秘めた?)
ドアの向こうに道があります。



東(あずま)英男



梶谷浩一

産学連携コーディネーター

当センターでは、技術相談や共同研究のコーディネートのほか、技術者支援プログラムも展開しています。最近はやりのMOT(技術経営)については、以下のように各種のセミナーを企画しています。

- 1) 技術者のための新発想法(H17.7.25月)
- 2) デザインレビューの進め方(H17.9.30金)
- 3) 企業会計における損益計算(H17.10)
- 4) 疑似体験による企業経営(H17.11)
- 5) 技術戦略を探る特許検索(H18.2)

なお、岡山大学教員の研究シーズ集、各種支援機関へのリンク集などを下記アドレスのホームページに掲載しております。

http://www.okayama-u.ac.jp/user/crc/index_crc.html

チャンスの神様をつかむため、存分にご活躍ください。

はばだけ岡山のベンチャー・カンパニー!

研修・交流会活動

ORIC交流会及びセミナー

4月度

交流会 事業紹介/花田技研工業(株)

事業紹介は、昨年4月に設立した花田技研工業(株)花田社長から「溶融スラグを活用した着色骨材(カラスラグ)製造販売」というタイトルで行われました。一般のゴミ廃棄物を焼却灰にして、1,200以上の高温で溶解させた後に冷却し生成されるガラス質の固有物である「溶融スラグ」は、本来無害で再利用が可能にも拘らず、有効利用されずに大部分が埋め立て処分されています。同社はそこに着目し、その溶融スラグを「人工セラミックの着色骨材原料」として製品化することを目指しています。製品の特長として、付着性、隠蔽性、退色性の点で従来の骨材より優れ、また、基本色以外にも配合を変えることで自由に中間色を作り出すことも可能な点が挙げられています。特に、「この着色技術により、溶融スラグは住宅外壁塗料、ガーデニング分野、道路・舗装分野ほか工業製品用骨材原料としての用途が期待され、同製品は本来ゴミである溶融スラグの利用価値を高めた環境対応型リサイクル商品として注目されている」とのことです。ビジネスマッチングの可能性のある企業のご紹介をお願いします。

ORICの現状と取り組み

今年度第1回目の交流会の開催ということで、ORICセンター長の松尾から、4月時点での入居状況や昨年度1年間の入居企業全体としての「各種の展示会への出展状況」、「各種の補助金・助成金・育成基金等の認定件数」などの入居企業の活動やセミナーの参加状況についての紹介がありました。また、入居企業からORICへの様々な要望事項に対する対応状況や考え方について回答が行われました。その一つとして、今年度よりスタートする、ORICの顧問弁護士、公認会計士などの顧問専門家制度についての紹介がありました。

ORICセミナー：事業に必要な資金とその調達

「事業に必要な資金とその調達 創業期から成長期まで」というテーマで福島理浩税理士

から現状把握の方法、銀行の見方はどういうものか、決算書の見方の3項目について、ご自身の税理士開業時での苦労した体験談も披露されながら具体的で判り易い説明がありました。

5月度

交流会 事業紹介/アナハイムエンジニアリング(株)

事業紹介はアナハイムエンジニアリング(株)が「インターネット広告による新しいビジネスモデルの開発と販売」というタイトルで、現在開発中のシステムを紹介しました。同社は「広告活動の効率」に着目して、広告を受け取った会員(消費者)が広告を依頼したスポンサーである店舗に来店した事が把握できるとともに、来店者の情報を基に顧客データベースを構築し、広告の費用対効果が明確で、かつ、マーケティング分析にも役立つ新しい広告システムを開発しています。

色々なアイデアを織り込んで、消費者である会員やスポンサーとなる広告主のいずれにも魅力的なシステムを目指しており、早期の開発完了と販売開始が期待されています。

ゲスト企業の事業紹介/メディエリアサポート企業組合

今回から、入居企業との連携の可能性があるなど、相互にメリットが期待される外部企業をゲストとして招き、事業紹介をして頂くことを計画しました。第1回目のゲスト企業として、既にORIC交流会を契機に、ORIC入居企業と販路提携などの連携を行っている「メディエリアサポート企業組合」を招きました。同社はNECメディカルシステムズから独立し、「メディカル」と「エリア」をキーワードに、地域に対して良質な医療環境を提供すべく、機器販売を行っています。現在は新規事業展開のため吉備国際大学の加藤先生と連携し、先生が研究中の「ウェーブレット解析法を活用した「筋肉の質を測定する筋電図周波数解析装置」の製品開発を目指しています。同製品は現状のリハビリテーション(理学療法)での筋力を向上させる様々なトレーニング方法をより効果的にできるものと期待されており、リハビリ現場で活用し易く

するために、廉価な価格設定を目指しています。また、運動選手の機能強化にも役立つことから、スポーツジム等での利用も考えられます。

OIAセミナー：ベンチャー支援メニューのご紹介

今回のセミナーは「ベンチャー支援メニューのご紹介 補助金など公的制度の活用」というタイトルで、今年度も昨年に引き続きOIA（おかやまインキュベータ協議会）が主催しました。まず、岡山県から「制度融資等」や新しく発足した「ベンチャー企業へのIT発注制度」が紹介され、その後、岡山商工会議所から「岡山商工会議所の各種支援メニュー」、岡山県産業振興財団からも「ベンチャー支援の各種プログラム」についての紹介がありました。参加者は100名近く、交流サロンも狭く感じられ程の盛況裏で活発な質疑が行われ、セミナーは終了しました。



多数の参加者があったOIAセミナーの様子

6月度

交流会 事業紹介 / (株)ユニバーサルテクノロジーズ

(株)ユニバーサルテクノロジーズの河原社長から「介護施設向けの入浴介助用『冷房スーツ』の開発」というテーマで事業紹介が行われました。入浴介助の現場では、高温の作業環境のため、肉体的負担が大きく、場合によっては脱水症状を起こす事も少なくないことから、同社は独自の潜熱蓄熱冷技術を活かし「軽くて涼しい入浴介助用冷房スーツ」を作り、介助者の負担を軽減することにより高齢化社会に貢献を目指しています。ハートフルビジネス岡山のメンバーと連携してマーケティングに取り組み、試作開発を行い、今年4月、会社設立に至っていま

す。現在試作中に入浴介助用冷房スーツはワイシャツ1枚程度の軽さで2時間はほぼ一定の温度で涼しく感じながら入浴介助が出来る商品を目指しています。同社の製品は、9月の国際福祉機器展等に出展されます。ご紹介頂ける介護施設などがありましたら214号室の同社まで御連絡をお願いします。

ゲスト企業の事業紹介 / (株)ワコムアイティ

続いてゲスト企業として、(株)ワコム アイティ（「i-boxにいみ」に入居の企業）谷忠幸所長代理から「地域密着型ITを利用したシステム開発について」というテーマで、畜産牛・酪農牛の一年一産を実現するための発情出産監視システムと、通院困難な患者向けの遠隔在宅医療支援システムの二つの事業について紹介がありました。新見地域に密着しながら全国展開を目指すという地域振興の熱い思いが伝わってきました。

ORICセミナー：ベンチャーキャピタルが見る事業計画のポイント

セミナーでは、日本有数のベンチャーキャピタル（VC）であるエヌ・アイ・エフベンチャーズ(株)執行役員関西支社長実歳英雄氏が「ベンチャーキャピタルが見る事業計画のポイント」というテーマで講演されました。VCは投資を行う前に、その企業が将来株式公開できるかどうかを様々な角度から検討するが、その際、事業計画書は「企業の将来性の可能性を探るツール」や「投資の担保」として重要な資料であること、企業にとっても「事業をうまく立ち上げるための指針」や「従業員との会社のビジョン共有」に必須の資料であることが説明された。また、企業を見るポイントは技術・ビジネスモデルの新規性・市場性・成長性があることは当然のこととして、更に 経営者の資質・信頼性、マーケティングの考え方、協力者・パートナーの強さ、 キャッシュフロー管理の4点を挙げられた。研究開発型企業に陥りがちな、「いいものを作れば売れる」という考えではなく、マーケットを見た取り組みの重要性を指摘された。

長年にわたり投資を判断されてきた経験に基づいた講演は、公開を目指す企業家にとって大変参考になりました。

第 6 回 IT 研究会の開催

セミナー：「Digital Bookの市場性と動向
そしてビジネス戦略」

5月25日（水）に第6回IT研究会が開催されました。

㈱3Dデジタルマックス代表取締役村田守巧氏を迎え「Digital Bookの市場性と動向そしてビジネス戦略」というタイトルで講演が行われました。デジタルブックは紙のメディアでは出来ない表現力を持っており最近注目を集めています。IT企業としてこの新技术を勉強し、自社の製品への利用や、IT企業でなくても、ユーザーの立場からこの技術を使って自社製品の宣伝、仕様説明書や保守説明書などのわかり易さを実現する事が考えられることから、幅広く参加を求めました。今回の講演は既にデジタルブック事業を始めている倉敷市のM&Cシステム社のご協力で実現しました。デジタルブックの基本はPCの画面上に見開き2ページという人間から見て自然な見せ方をするのが特徴ですが、講演では事例を基に対象物をマウス制御でぐるぐる回しながら見る事が出来る実写3D表現やインターネット広告上のマンションの間取り図をクリックすると室内のパノラマ画像が

360度自由に回転するなど、より強力な表現法の紹介や、これら豊かな表現力があまりコストをかけなくても実現できる等3D技術の豊かな将来性と市場についての説明がなされました。

中四国IMワークショップ開催

6月17日（金）午後、毎年春と秋に恒例の中四国のインキュベーションマネージャー（IM）の交流会が当CRICで開催されました。東京からも（財）日本立地センター星野インキュベーション研究所長をお招きし、（財）岡山県産業振興財団経営支援部ベンチャー・経営革新グループの方々も参加、約30名が集まりました。同所長の基調講演「わが国BIの最新事情」の後、全体会議では「ベンチャー企業支援事例研究 - ビジネスモデルの分析と効果的支援策の検討」のテーマで各IMからの事例発表と活発な質疑応答があり、締めくくりは、「BIと地域貢献」と題したCRICセンター長松尾の講演、その後CRIC中庭のバーベキュー会場にて懇親を深め、次回香川での再会を約束してお開きとしました。

入居者の活動・トピックス

インタロボット株式会社製

コミュニケーションロボ「インタアニマル」 愛知万博登場

去る6月9日（木）～19日（日）の11日間、愛知万博内の「モリゾー・キッコロメッセ」においてNEDO（（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構）主催の「プロトタイプロボット展」にCRIC入居企業のインタロボット㈱が、岡山県立大学と開発した「インタアニマル」を展示しました。このシステムは周りの大人達がキャラクターの「インタアニマル」を媒介してコミュニケーションを促進するというもので、大人達は遠隔で声色を変えてインタアニマルを演じています。ポイントは音量に合わせたキャラクターに自然な動作でうなずき身振りなど体の動きによるリズムを共有し、互いに引き込み、一体感をもつことによってコミュニケーション



が円滑になるというもので、入場規制もされるほど大盛況で子供達は大喜びでした。詳しくは下記ページをご覧ください。

<http://www.expo2005.or.jp/jp/E0/E1/nat/robot/index.html>

入居企業のご紹介

株式会社アスコルバイオ研究所

世界初の安定・持続型新ビタミンC「PROVITAC(プロビタC)」新発売

(株)アスコルバイオ研究所は、岡山大学名誉教授(薬学部)、山本格社長が、30年以上にわたり、大学で予防薬学を中心に有機化学、薬理学、免疫学などの分野で研究した成果を「独自の発想に基づき、安全・安定・安価で且つオンリーワンの製品を開発、普及することにより国民の健康と美容並びに予防医療に貢献する」という経営理念に基づき平成16年9月に設立。

同社長の研究成果の一つである世界初の安定・持続型新ビタミンC「AA-2G」(国際特許取得済み)の商品開発が実を結び、この7月1日から「PROVITAC」(プロビタC)という商品名で新発売された。ビタミンCは病気の予防に有効なビタミンとして知られているが従来は、熱・酸素・光などに対し弱いという欠点があった。新ビタミンC「AA-2G」はこれらを解決、厚生労働省・食品衛生法の規定に基づき食品添加物に指定され、服用できる世界で初めての安定型ビタミンとして認可されている。本製品は、皮膚粘膜の健康維持、メラニン色素を抑制する美白効果、コレステロールの減少、たんぱく質の寿命を延ばす、抗酸化作用による老化防止、コラーゲンの生成促進、鉄の吸収促進などの有効性が認められている。

「21世紀の医療は、食生活改善と適切な機能

性物質を含むサプリメントの摂取等により、疾病の発症を未然に防ぐことを目的とする予防医学・医療が中心となることが予測される。そこで安全且つ、科学的評価に基づき機能性物質、特に抗酸化作用、免疫機能強化作用、神経機能促進作用を有するユニークな物質の研究開発を行い、疾病の発症を予防できる物質を世の中に提供していく。」(山本社長談)との事。

今後、同社は、AA-2G添加ドリンク、AA-2G添加豆乳及びヨーグルト、AA-2G含有芳香水溶液、AA-2G強化ルイボス茶「ルイボスC」や芳香消臭液「ハーバルアクア」などの商品化を予定。さらには、大学等との開発研究を共同で行い、開発されたシーズをもとに健康栄養食品・機能性食品・サプリメント、化粧品、医薬部外品、医薬品、診断薬、アロマ関連製品等の商品開発、製造、販売及び輸出入業務を行う計画である。

会社概要

代表者	山本 格
設立	2004年9月
T E L	050-7533-3162
U R L	http://www.ascorbio.co.jp/

株式会社 VOIPACK JAPAN

IP電話システムの開発・販売

- 中国進出国内企業の日中間国際電話の格安化 -

ボイパックジャパンはIP電話サービス会社です。同社のIP電話システムは中国との通話で、登録会員同士であれば日本と中国両国でインターネット接続料金だけで通話できるのが特徴です。どのプロバイダに加入していても利用でき、携帯電話と連動したり固定電話に転送す

る機能もあります。また、他社のIP電話ではファクスが送れないのが多い中、同社のIP電話はファクス送信が可能になっており優れた機能を有していることから、発売以来順調に売り上げを伸ばしています。去る3月には岡山県と上海市のIT企業同士の交流を深めるため上海

で開催された「岡山・上海IT企業交流会」にCRICから参加した3社の内の1社で、同交流会で上海現地側と共同出資しIP電話システム販売の上海現地法人を設立することになり、中国市場での基盤の強化により更なる飛躍が期待されています。

同社のホームページには、より詳細な説明や料金表など色々な情報が記載されています。海外、特に中国との電話が多い企業にとっては、検討に値するサービスだと思いますので、ご興

味のある方は、同社のURLをチェックしてみてください。

会社概要

代表者 稲葉 多吉
設立 2004年1月
TEL 086-286-9817
URL <http://www.voipack.net/>

スタッフルームより - 新支援サービス等のご紹介 -

顧問弁護士、顧問税理士制度創設

かねてからCRIC入居企業の皆様方から要望のありました専門家顧問制度がこの7月から本格スタートしました。

CRICの運営会社であるPFI岡山インキュベーター(株)は以下の専門家と顧問契約を締結。原則として相談会は毎月1回開催(場合によっては個別も可)します。費用は、1回の相談につき1,000円の負担です。皆様の事業運営の一助に

是非ともお気軽にご利用下さい。お申し込み、詳しいお問い合わせはCRICスタッフルームまで。

<専門家>

小林裕彦法律事務所 小林 裕彦 弁護士、
税理士法人石井会計 石井 栄一 公認会計士・
税理士

プレインキュベーション室の開設、初入居者紹介

CRICでは、本年6月より「大学発ベンチャー支援プログラム」を開始致しましたが、今般、その第1号として、7月から岡山県立大学の学生がCRICのプレ・インキュベーションルームに入居する運びとなりました。入居期間中の活動内容としては、

- ・ 計画事業の市場調査、販売可能性、競合調査等を含む基礎調査、事業性検討
- ・ 事業化するアイデアのビジネスモデル、ビジネスプランの作成等を行います。

その後、会社設立準備等が完了した場合は、メインインキュベーションへの入居を目指す事となります。大学関連の方で起業希望者がおられましたらCRICには「大学発ベンチャー支援プログラム」のある事をご紹介頂きますようお願いいたします。

募集要項

入居期間 約6ヶ月
ブース数 6ブース(5㎡/1ブース)
インターネット環境 常時接続
(3.0Mbpsを共用、無料)
支援内容 事業計画の作成、事業性の基礎調査、創業セミナーの開催、個別指導など
(個別指導は週1回、2~3時間程度)
利用料 5,000円/月(設備利用、個別セミナーなど含む)及び電気料金(実費)
審査方法 面談のうえ、シーズや意欲など評価により入居可否を決定
お問合せ・お申込み先 CRIC支援スタッフルーム
TEL: 086-286-9116

新入居者（入居内定者）のご紹介

7月7日に第10回入居審査会が開かれ、厳正なる審査の結果、下記3社の入居の内定が発表されました。

入居内定企業名 代表者	事業の概要	本社所在地	分野
アロイ工業(株) 下井谷 良信	従来にない、高効率で超精密成形が可能な、新しい金属射出成形プロセスの実用化研究	真庭市	機械
メディエリアサポート 企業組合 国里 光博	wavelet表面筋電図周波数解析を用いた臨床普及型の質的筋機能評価システムの開発	岡山市	機械
(株)山田養蜂場 山田 英生	糖尿病・高血圧・疲労・骨粗鬆症などに効果のある機能性健康食品開発。	苫田郡	化学

INFORMATION

ベンチャー・ビジネスプランコンテスト ~@ベンチャー OKAYAMA~ の開催

このコンテストは(財)岡山県産業振興財団主催で実施され、岡山県内での企業・創業の意欲を持つ全国の個人の方を対象にビジネスプランを募集します。受賞者には賞金の他、同財団などによる総合的な支援も受けられます。詳細はホームページをご覧ください。

応募資格：

全国の個人で、2年以内に岡山県内で新たに法人を設立し、応募プランの事業化を目指す者。

表彰：最優秀賞(1名)賞金500万円

申込み締切日：8月31日(水)必着

応募方法：

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、下記事務局まで郵便により送付してください。なお、応募用紙は下記ホームページからダウンロードできます。

【お問合せ・お申込み先】

(財)岡山県産業振興財団

ベンチャー・経営革新グループ

TEL 086-286-9651

同コンテストのURL

<http://www.optic.or.jp/zaidan/s22/bpc/h17/>

入居者募集中

随時、入居のご相談に応じていますので、ご連絡下さい。(TEL. 086-286-9116)

施設使用料

施設区分	面積	部屋数	使用料の月額
研究室小	約 25 m ²	22	45,000円
研究室大	約 50 m ²	30	88,000円
試作開発室	約 100 m ²	6	175,000円

- 入居後3年間は、更に1/2減免の制度もあります。
- 複数室の利用も可能です。

募集概要

対象：情報通信や、ものづくり分野を中心に新技術・新製品の開発、創業を目指す個人・グループ・企業。

期間：3年以内(再申請もできます)。

審査：入居にあたり、審査があります。

次回募集

原則として3ヶ月毎に入居者審査会を開催しています。次回は8月末までに事業計画書を提出された方を対象に、9月中に開催の予定です。

(参考)【入居可能研究室】(2005年7月入居後)

研究室小 (25m²) : 2室

研究室大 (50m²) : 3室

試作開発室 (100m²) : 3室

